

※火災番号	
※受理	年 月 日

（あて先）登米市消防署長

住 所
 申告者 職 業 _____ 電話 _____
 氏 名 _____

不 動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者		
	り災場所					
2	建築年月・購入年月	建 築 又 は 購 入 金 額				
	推定・記録・記憶	推 定 ・ 記 録 ・ 記 憶 ・ 不 明				
	年 月 日	3.3㎡（坪）当たりの金額（円）	総 金 額 （円）			
3	取 得 後 の 経 過					
	修繕・改築	年 月	修繕・改築した箇所	修 繕 ・ 改 築 に 要 し た 金 額 （円）		
	増築	年 月	増 築 の 概 要	増築面積（㎡）	増築に要した金額（円）	
4	り 災 前 の 建 物 詳 細					
	建物の用途	構 造	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積（㎡）
	居住世帯数	世 帯		居住人員	人	
5	建 物 ・ 収 容 物 以 外 の り 災 状 況					
	り 災 物 件 名	り 災 別	数量又は面積	経過年数		
		焼・爆・他		年		
		焼・爆・他		年		
6	火 災 保 険 の 契 約					
	契 約 会 社 名	契 約 年 月		保 険 金 額 （万円）		

- 備考
- 1 この申告書は、消防法第34条によって提出を求めるものです。
 - 2 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
 - 3 法人の場合には、代表者の氏名、住所は所在地を記入してください。
 - 4 申告書は、建物の1棟ごと又は世帯ごとに記入してください。
 - 5 ※印の欄は、記入しないでください。

不動産り災申告書記載要領

(1の欄)

「り災物件と申告者との関係」欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

1 「建築・購入年月、総金額」欄は、記録（書類に記載されている年月及び金額）によって明らかなものなのか、記憶や推定によるものなのかなど、あてはまるものを○で囲んでください。

2 「金額」欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡（坪）当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

(3の欄)

1 「取得後の経過」欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築又は増築があった場合に記入してください。

2 「修繕、改築、増築」欄には、いつ、どこの部分を、どのくらい（㎡）、修繕、改築、増築し、いくら（金額）かかったかを記入してください。

	月	日	修繕等した箇所	金額
例) 修繕:	〇〇年	〇〇月	台所システムキッチン	20万円
例) 改築:	〇〇年	〇〇月	1階風呂場 30㎡	100万円
例) 増築:	〇〇年	〇〇月	2階寝室 25㎡	300万円

(4の欄)

1 「り災前の建物詳細」欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

	用途	屋根	外壁	階数	延べ面積
例) 住宅	日本瓦	モルタル	2階建	75㎡	
例) 店舗・住宅	亜鉛鉄板	石綿スレート板	3階建	135㎡	

2 「居住世帯数・居住人員」欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

(5の欄)

1 「建物・収容物以外のり災状況」欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。

2 「り災別」欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

(1) 焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど。

(2) 爆：爆発により壊れたものなど。

(3) 他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど（1）、（2）に該当しない直接損害のすべて。

(6の欄)

1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。

2 保険金額は、契約会社別に万円単位で記入してください。

備考

この申告書でわからないことがありましたら、下記の消防署 までご連絡ください。
登米市消防署 出張所
電話